年 齢

## クロザピン外来チェックリスト

医師名:

生 年 月 日

依頼医療機関名:

ふりがな

氏名								年	月	日		Į,	歳
住所												1	
電話	携帯					自宅					道 □自宅	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	帯
家族氏名						続柄		電話					
住所													
診断名 (精神科	)												
※FAXで送信される際は、本人が特定される個人情報は消して(患者名はイニシャル)ください													
1. 治療抵抗	抗性統合失詞	調症につ	いての	確認(抗	精神症	気薬の!	処方.	歴、処方	内容、	処方量、	処方期間)	)	
□ 反応性が不良である(クロルプロマジン換算で600mg以上の薬剤)													
過去の治	· 療歴												
薬剤名				投与:	量:			mg/日		期間:		か月	
			年	月	日	~	年	月	日				
薬剤名				投与:	量:			mg/日		期間:		か月	
	•		年	月	日~	~	年	月	В				
薬剤名				投与:	量:			mg/日		期間:		か月	
			年	月	日~	~	年	月	日				
薬剤名				投与:	量:			mg/日		期間:		か月	
			年	月	日~	~	年	月	日				
	耐容性不良	である											
薬剤名				投与:	量:			mg/日	副作用	用:			
薬剤名				投与:	量:			mg/日	副作用	用:			
2. 抗パー:	ナンハハの声	をの加士:	左無										
2. 11/\—-	<u>インフン病</u> - 処方有り	架07处力2		有りの場	1 A N	੮ + <del>=</del> ⊐=	<u></u>		П	処方なし			
英刘友	処力有り			イッの場 投与:			以	mg/日	 副作序				
薬剤名 薬剤名 薬剤名								mg/日	副作用				
米別位				JX <del>J</del> .	<u></u>			1118/ П	田リリアノ	11.			
3. 直近の	採血データ	(白血球类	7 · <i>1</i> 7 d	Þ球数·	AR∩∓	大血 汯	型け	必須)					
	1 <u>2</u> 12 1 7 7	<u>、一</u>	\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	1 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-v/汉.	<u> </u>	<i>,,,,,</i>					
									П	別紙有	· <b>(</b> )		
										7 J 3-13-E C 1 J	*		
4. GAF尺	度												
	41点以上に	なったこ	とがな	い	□ lt	い		□いい	_ <u></u> え				
5 11-1-12	の右無												
過去にCPN	過去にCPMSの中止基準により、本剤を投与中止したことがない。 □ はい □ いいえ												

## 6. 薬原性錐体外路症状評価尺度(DIEPSS)

※抗パーキンソン病薬使用中のDIEPSS評価

評価日		年	月		日					
評価時間			~							
1 \		0		1		0		2		1
1)歩行		0		1		2		3		4
小刻みな遅い歩き方。速度の低下、歩	届の減ク □□	少、上肢の	)振れ <i>0</i>	)減少、	前屈姿勢	や前方の	≅出現象	の程度を評価	する。	
2)動作緩慢	Ш	0		1		2		3		4
動作がのろく乏しいこと。動作の開始または終了の遅延または困難。顔面の表情変化の乏しさ(仮面様顔貌)や単調で緩徐な										
話し方の程度も評価する。										
3)流涎		0		1		2		3		4
唾液分泌過多。										
4)筋強剛		0		1		2		3		4
上肢の屈伸に対する抵抗。歯車現象、ろう屈現象、鉛管様強剛や手首の曲がり具合の程度も評価する。										
5)振戦		0		1		2		3		4
口部、手指、四肢、躯幹に認められる反復的、規則的(4~8Hz)でリズミカルな運動。										
6)アカシジア		0		1		2		3		4
静座不能に対する自覚:下肢のムズムズ感、ソワソワ感、絶えず動いていたいという衝動などの内的不穏症状とそれに										าเ
関連した苦痛。運動亢進症状(身体の揺り動かし、下肢の振り回し、足踏み、足の組み換え、ウロウロ歩きなど)についても評価する。										
7)ジストニア		0		1		2		3		4
筋緊張の異常な亢進によって引き起こ	されるタ	症状。舌、	頸部、	四肢、	躯幹など	ごにみられ	こる筋肉	刃の捻転やつっ	ぱり、	
持続的な異常ポジション。舌の突出捻撃	坛、斜雪	質、牙関緊	急、眼	]球上	伝、ピサ症	E候群なと	ごを評価	する。		
8)ジスキネジア		0		1		2		3		4
運動の異常に亢進した状態。顔面、口部、舌、顎、四肢、躯幹にみられる他覚的に無目的で不規則な不随意運動。										
舞踏病様運動、アテトーゼ様運動は含むが、振戦は評価しない。										
9)概括重症度		0		1		2		3		4
錐体外路症状全体の重症度。										

0=なし、正常 1=ごく軽度、不確実 2=軽度 3=中等度 4=重度